

## ジブチ月例報告 (2025年11月)

在ジブチ日本国大使館

### 【内政】

- 11月2日、国民議会本会議において憲法改正案に関する第2回公開審議及び採決が行われ、全会一致で採択された。これにより憲法改正が正式に成立した。主な改正点は女性器切除（FGM）禁止、大統領候補の資格要件の修正（上限年齢要件の撤廃）、憲法院の増員等。
- 11月8日、与党RPPは臨時党大会を開催し、2026年大統領選挙における公式候補者としてゲレ大統領を指名した。
- 11月12日、国民議会通常会期の第2回公開会議が開催され、ジブチ・スタートアップ法、中東グリーン・イニシアティブ憲章の批准、国家サイバーセキュリティ庁（ANC）の設立法案等が可決された。
- 11月29日、連立与党の一員であるFRUDは第6回臨時党大会を開催し、RPPとの同盟関係を確認しつつ、2026年大統領選挙においてゲレ大統領を与党連合UMP唯一の候補者として支持する旨を発表した。

### 【外政】

- 11月2日、ゲレ大統領は、エジプトを訪問し、大エジプト博物館除幕式に参加した。
- 11月3日、オマール外務・国際協力大臣は、ハッサン・タンザニア大統領就任式にゲレ大統領代理として出席した。
- 11月3日、アブドゥルカデル首相は、ダニエルズ国際移住機関（IOM）副事務局長と会談し、アフリカの角地域における移民管理と難民の状況について議論した。同副事務局長は、サイド内務大臣とも会談を行った。
- 11月4日、ディレイタ国民議会議長は、エルサレムとパレスチナのための議員連盟のシェイク会長の表敬を受け、パレスチナ人のための地域及び国際的な取組強化について議論を行った。
- 11月13日、ゲレ大統領は、オリビエ・ンドゥフンギレ・ルワンダ外務・国際協力大臣の表敬を受けた。同大臣は第2回ルワンダ・ジブチ共同閣僚委員会開催のためジブチを訪問中であり、同委員会では、貿易の促進、相互投資の奨励、制度・社会面での協力強化等に係る4協定と5覚書が署名された。
- 11月19日、オマール外務・国際協力大臣は第46回フランコフォニー閣僚会議参加のためキガリを訪問し、国際フランコフォニー機構（OIF）のルイーズ・ムシキワボ事務局長と会談した。
- 11月21日、第4回EU・インド太平洋閣僚会議がブリュッセルで開催され、

アリ・ハッサン外務次官が率いるジブチ代表団が参加した。

● 11月24日、ゲレ大統領は、第7回E U-A Uサミットに参加するためルアンダを訪問した。ゲレ大統領は、同会議のマージンにおいてマクロン仏大統領と会談し、新仏ジブチ防衛協力協定（T C M D）フォローアップ会合、ジブチ新空港建設構想等の進展等について確認した。

#### 【経済・開発】

● 11月9日、ジブチ多部門規制当局（A R M D）は、国際電気通信連合（I T U）と提携し、電気通信セクターに係る国家戦略及び電波スペクトル規制に関するハイレベルワークショップを開催した。

● 11月10日、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）は、加企業 4th Resource Corp 代表団と地熱開発について議論した。

● 11月10日、ゲレ大統領は、イエメンのアブドゥルラザック計画・国際協力大臣兼通信・情報技術担当大臣代理の表敬を受けた。また、アブドゥルラザック大臣はラドワン通信・郵便・電気通信担当大臣と面談し、情報通信技術における二国間協力の強化を目的としたパートナーシップ協定に署名した。

● 11月12日、ヨニス・エネルギー大臣の後援、U N D P、U N E P、共同S D G基金との協力の下、太陽エネルギー推進に関する全国フォーラム（F N E S 2 0 2 5）がジブチで開催され、国連システム関係者、民間セクターの関係者、太陽エネルギー技術専門の研究者等が参加した。

● 11月19日、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官は、中国G C Lグループ会長と面談し、ダメルジョグ工業団地からの液化天然ガス輸出と、フリーゾーンへのボーキサイト輸入と現地加工を目的としたアルミニウム及び太陽光パネル製造工場建設計画について議論した。

● 11月21日、ドバイ鉱業見本市に参加中のヨニス・エネルギー大臣は、米国企業アムスベック幹部と会談し、ジブチにおける炭化水素分析研究所の設立について協議したほか、アムスベックとジブチ国際炭化水素公社（S I H D）間のパートナーシップ協定の締結について合意した。

● 11月24日～26日、ラドワン通信・郵政・電気通信大臣はドーハで開催されたモバイル通信地域会議（M W C 2 5）に参加し、カタールのモハメド通信・情報技術大臣等と会談を行った。

● 11月25日、イリヤス経済・財政大臣は、リヤドにおいてサウジ開発基金（S F D）のアルマルシャド総裁と会談し、ハッサン・グーレド新空港建設、都市・道路インフラ整備等への資金提供の増額について合意した。

● 11月26日、第3回印ジブチ・ビジネスフォーラムがジブチで開催され、中小企業（S M E）の発展に重点を置いた議論が行われた。同フォーラムには、サフィ

ア投資庁長官等が参加した。

### 【保健・衛生・社会】

- 11月4日、ディアスポラの若者間の対話とパートナーシップ強化を目的とした第5回パンアフリカ青少年フォーラムの開会式が開催され、ゲレ大統領、ヒボ青年・文化大臣等が参加した。
- 11月13日、ゲレ大統領は、国際サッカー連盟（FIFA）との協力プロジェクトであるドウダのジブチ・サッカー・アカデミー・オブ・エクセレンス開所式に参加した。
- 11月14～17日、在ジブチ露大使館とジブチ青年・文化省は、露連邦文化省、ロスキノ、ロスコンサートの協力の下、一連の露文化イベントを開催した。モスクワ人民合唱団コンサートにはアブドゥルカデル首相、ヒボ青年・文化大臣、ナビル高等教育・研究大臣が出席したほか、ジブチ国立図書館で開催された映画祭開会式にはモハメド・ジブチ文化振興機構（ANPC）長官が出席した。
- 11月19日、アブドゥルカデル首相はジブチ下水道ネットワーク拡張・改修（PERRAD）プロジェクトのプレゼンテーション会議を開催し、アワレ農業・水・漁業・畜産・水産資源大臣、ラドワン通信・郵便・電気通信大臣等が参加した。
- 11月19日、アブドゥルカデル首相は、アフリカ大陸における必須医薬品の確保を目的とした第3回アフリカ医療製品サプライチェーン強化フォーラム（FARCAPS2025）をジブチにて主催した。
- 11月23日、アブドゥルカデル首相は、ジブチ派遣中のキューバ医療チームに「6月27日国家勲章」シュヴァリエ章を授章した。キューバは、2002年から約60名のジブチ人医学生を無料で受け入れ、2023年に締結された協定に基づき8名の医療専門家をジブチに派遣している。

### 【軍事・治安】

- 11月9日、ザッカリア統合参謀総長は、アルタの統合軍学校を訪問し、1年生の修了式に参加した。
- 11月24日～27日、強制移住に関するIGAD支援プラットフォームの閣僚級評価会議がナイロビで開催され、スレイマン・ジブチ内務省次官が議長を務めた。

### 【日本関係】

- 11月10日、在ジブチ日本大使館は、JICA、JICA海外協力隊、自衛隊拠点の協力を得て、ニトベ基礎学校及びアンスティチュ・フランセにおいて、書道、折り紙、けん玉、そろばん、法被試着等のワークショップ、三味線奏者 Shamisen Singer YUZU 氏による演奏会からなる日本文化イベントを開催した。

- 11月17日、大河内駐ジブチ日本大使は、駐ジブチ・エチオピア大使と共に、ゲレ大統領に信任状を捧呈した。
- 11月17日、大河内大使は、アメウォアWFP常駐代表らと意見交換を行った。
- 11月24日、大河内大使は、日本社会信託基金（JSDF）を通じて日本が出資する世銀の栄養支援案件の研修終了式典に参加した。同式典には、ファル世銀ジブチ常駐代表、ウルファ社会問題・国民連帯大臣等が出席した。
- 11月25日、大河内大使は、アブドゥルカデル首相へ着任表敬を行った。
- 11月26日、大河内大使は、ハッサン・インフラ設備大臣へ着任表敬を行った。
- 11月27日、大河内大使は、ベアット・ユニセフ常駐代表との間で、令和7年度対ジブチ無償資金協力「北部地方における給水施設設備計画（UNICEF連携）」に係る書簡の署名・交換を行った。
- 11月30日、大河内大使は、ディレイタ国民議会議長へ着任表敬を行った。
- 11月30日、大使公邸において、令和7年度自衛隊記念日レセプションを開催した。

（了）